

製品名: カルパイン 2 (309) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe07867**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,FC 1:50-1:100
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	CAPN2
別名	CALP80; Calpain M type; Calpain-2 large subunit; Calpain2; CANP2; CANPL2; CANPml; Capa2; CAPN2; M calpain; mCANP; Millimolar calpain;
遺伝子 ID	824.0
SwissProt ID	P17655
免疫原	ヒトカルパイン 2 の合成ペプチド

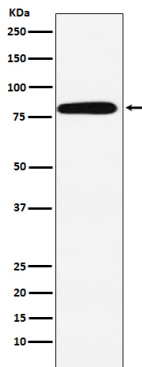
背景

カルシウム制御性非リソソーム性チオールプロテアーゼは、細胞骨格リモデリングおよびシグナル伝達に関する基質の限定的なタンパク質分解を触媒します。カルシウム制御性非リソソーム性チオールプロテアーゼは、細胞骨格リモデリングおよびシグナル伝達に関する基質の限定的なタンパク質分解を触媒します。MYOCの「Arg-226」をタンパク質分解的に切断します (PubMed:17650508)。神経刺激後にCPEB3をタンパク質分解的に切断することで、CPEB3の翻訳抑制活性が消失し、CPEB3標的mRNAの翻訳が誘導されます (類似性による)。

研究分野

シグナル伝達; シグナル伝達経路; カルシウムシグナル伝達; カルパイン; 細胞生物学; タンパク質分解/ユビキチン; タンパク質分解酵素; システインプロテアーゼ; カルパイン; がん; がん代謝; 低酸素状態への反応; 代謝; 経路とプロセス; 代謝プロセス; 低酸素状態

画像データ



A431 細胞溶解物中のカルパイン 2 発現のウェスタン ブロット分析。